



新鳥取12景 (11) お堀端 清々しい心のふるさと

内堀に深々と湛えて映える老松の緑の水に桜葉の紅葉が散る。錦鯉は唇を軽く触れては浮き沈む。

城山の空高く澄み切った青に、思いつきりサツとひと刷毛白く秋の心を描いたのは誰だろう。お堀に住む鳥翼を失った飛べない白鳥の瞬間の飛翔でもあろうか。

理由のない不安や苛立ちに生き難い日々、人々は失い勝ちなメルヘンを、そして心の拠り所を求めてこのお堀端周辺に導かれ、人生散策を試みたくなるのではなからうか。

内堀は四百年余りの城下町の歴史を知る城山を沈潜させ、その水底の樹間に、建物全体そのまま美術品といわれる重文のルネサンス様式白亜の仁風閣が揺れている。

江戸末期造園の極致といわれる宝隆院庭園は新装成った茶室宝扇庵と共に市民に開放され、小動物舎、民家、テニスコートの除かれた広場は休憩所の在る優雅な史跡公園として甦り、時計計は太古から受継いだ悠久を未来の悠久へと刻み続けている。

内堀は沈めている。刻々と山肌から山肌へ幾重にもぬりかえる城山の秋の深まりと、背景に古城の石垣のよく似合う近代建築博物館をも。そして母と幼な子たちが白鳥となり鯉となるひとときを波立ち、波紋のトレモロが堀一杯に拡がると「ふるさと」の碑は「ふるさと」のメロディーを奏で、散策の人々も暫し耳を傾けて自分自身に向き合い、自分の心のふるさとを確かめる。

太陽を自由に吸って生きたい。両の肩に汚れない露と澄んだ大気を担いで歩きたい、と思わずにはいられない清々しいお堀端周辺である。

絵・中川 素人さん (丹丘会)
文・久利 溪子さん (詩人)

十月一日、市制施行八十八周年記念式典が福祉文化会館で行われ、金田市長ら関係者約百三十人が出席して市の発展を祝いました。

市制施行88周年記念式典

3団体と19人を表彰

10月1日 130人が出席 祝う

式典では、まず、市長が「ことは地方自治三十年という記念すべき年でもあり、また八十八周年は人間で言えば米寿にあたる年であり、誠に意義深い」と式辞を述べました。

このあと、一般功労と自治功労あわせて三団体と十九人が表彰さ



金田市長から表彰状を受ける桑原正明さん(右)

新しく「市政顧問」設ける

市政重要事項に助言

市は十月一日、高田勇、広田敏男、尾坂雅人の三氏に市政顧問を委嘱しました。この

「市政顧問」の制度は、市政に関する重要事項について助言をしてもらうため十月一日に施行された新しいもので、現職を除き、永年市政に貢献のあった市長（十二年以上在職者）市議会議員（二十四年以上在職者）が対象です。

高田勇氏（六九）は昭和三十四年二月から四十六年二月まで、三期十二年市長を、広田敏男氏（七〇）は昭和十八年五月から四十九年十二月まで、

八期三十二年市議会議員を、尾坂雅人氏（七三）は昭和二十五年十二月から四十九年十二月まで、六期二十四年市議会議員を、それぞれ努めています。

市政顧問のみなさん



高田 勇氏



広田敏男氏



尾坂雅人氏

- 賀露町。
- 八村 信三（六六） 〓 商工業の振興と中小企業金融の発展に貢献。大槻町。
- 縫谷誠三郎（六五） 〓 商工業の振興と青少年の健全育成に貢献。西町四丁目。
- 加藤 光貞（七六） 〓 華道を通じ市民文化の向上に貢献。江崎町。
- 山崎 米蔵（七七） 〓 茶道を通じ市民文化の向上に貢献。今町一丁目。
- 中島 文子（六二） 〓 創作活動に献身し、市民文芸の振興に貢献。末広温泉町。

- 協同組合鳥取卸センター（熊田退三理事長） 〓 店舗集団化事業の推進と商業の流通に貢献。
- 円通寺人形芝居保存会（西村清市代表） 〓 無形文化財を保存し、芸術文化の向上に貢献。

- 【納税功労】
- 平野富治郎（七六） 〓 納税組織の充実と納税思想の高揚に貢献。古市。
- 【市政一般功労】
- 浜野 二郎（七三） 〓 住民運動を率先垂範、生活環境の整備に貢献。相生町一丁目。

- 【社会福祉功労】
- 桑原 正明（八三） 〓 更生保護に貢献。片原五丁目。
- 小田 晴子（七二） 〓 精神薄弱者の福祉増進に貢献。上魚町。
- 【自治功労】
- 安本 精一（六三） 〓 市議会議員として十年、地方自治振興に貢献。相生町二丁目。

- 【教育功労】
- 高橋英次郎（七六） 〓 小学校教育の振興発展に貢献。東町三丁目。
- 倉田地区同和教育推進協（坂本親男会長） 〓 同和教育の推進に貢献。
- 池原賢太郎（五九） 〓 同。弥宜谷。四丁目。
- 伊藤 昭二（五〇） 〓 同。立川町。四丁目。

- 【芸術文化功労】
- 村川 和夫（四八） 〓 同。栄町。
- 井上 幸喜（四六） 〓 同。松並町一丁目。

鳥取市が自治大臣表彰

地方自治30年記念式典

十月六日、東京国立劇場で地方自治三十年記念式典が行われ、市長が、席上、鳥取市は百四十三団体、個人百九十七人とともに地方自治功労者として、自治大臣表彰を受けました。

これは、大火後の土地地区画整理、道路整備、下水道整備など各種事業実施、公民館の充実など自治行政の運営に創意工夫をし、住民の福祉増進に努力した功績によるものです。

- 【産業功労】
- 小谷 嘉實（七三） 〓 商店街の振興発展と中小企業納税の推進に貢献。栄町。
- 清水 義光（七三） 〓 砂丘地農業の技術指導と組織の育成に貢献。

市の人口 12万5000人突破

3年で5000人増える

鳥取市の人口が十二万五千七十六人（男六万四千九百四十七人、女六万四千九百二十九人）に達しました。人口増のうち約六〇％は去る四十九年九月三十日に十二万九千六百人（住民登録人口、以下同）と十二万人の大台に乗った市の人口は、その後、年間約千七百人のペースでふえ続け、三

年後のことし九月三十日、十二万五千七十六人（男六万四千九百四十七人、女六万四千九百二十九人）に達しました。人口増のうち約六〇％は去る四十九年九月三十日に十二万九千六百人（住民登録人口、以下同）と十二万人の大台に乗った市の人口は、その後、年間約千七百人のペースでふえ続け、三

明治と豊実の将来像語る

市民と市長のつどい

明治、豊実両地区の将来像を話し合う「市民と市長のつどい」が九月二十四日、高草中体育館で開かれ、市民約四十人と金田市長が活発に意見交換しました。

市長が地図を指しながら二十年後の鳥取市の姿を説明したあと、加藤元彦（明治）縄田郁太郎（豊実）両地区会長の司会で市街化区域、下水道、農業、文化財などの

問題点が話され、市長が要旨の通り答えました。「市街化区域は街路、下水道などいろいろな整備をしなければならぬ。市街化区域をふやすばかりで整備が遅れても困るので、市街化区域の拡張を国は簡単に許可しないだろう。しかし、嚴重な線引きにも緩和傾向が見えてきたので、そのうち調整区域でも住宅が建てられるのではないか。

下水道に対する考え方を公共下水道と排水路の二つに分ける必要がある。今後二十年で公共下水道を完成させるといふのは市街化区域だけの構想。農村地域は排水路を整備し、各家庭に浄化槽をつけて水洗化できるようにしたいが、集落が数百もあり、国が全面的に援助してくれなければ困難だ。ほ場整備は現在、可能面積の約六割は完了しており機械化できるようなっているが、農家は機械化貧乏。今後、機械の共同利用が大きな課題になる。

ことしは市内の文化財を紹介す小冊子をつくる。将来、文化財を線で結び市民が見たり活用したりできるようにしたい。市指定の文化財を保護するために、経済的援助も、今後の課題として考えた

生きぬく“人生”

市政雑感

69



金田裕夫

人間の値打ちは一律の評価はできない。価値観も異なる。どんな人生が価値があるといえない。人間、精いっぱいどんな仕事でもし、努力し生きなくてはならない。

いつかテレビで身障者スポーツ大会を見た。身障者が必死で競技をする。車いすで走る。ボールを追う。片足で飛ぶ。サリドマイド児が縮んだ手でラケットを握り、ピンポンの白球に飛び付く。真剣そのものである。強く感動した。

人間何のために“生”を得るのか。生まれたかぎり生きなくてはならぬ。なぜか。難しいことは別とし、精魂の限り一

生懸命生きること、美しい感動を呼ぶ。“生”こそ人間の、人生の根源なのだ。“生”の否定は人間そのものの否定につながる。どうしても生きなくてはならぬ。

ジン臓病患者は血液を一日おきに洗っている。勤めがすんだあと病院で三時間ぐらいの治療をうける。病院から遠い人は大変だ。家に帰ると夜半になる。これも生きるためである。不治の病にとりつかれる。もちろん何もできない。生きるため多くの人に迷惑をかける。“なぜ生きなくてはならぬか”と真剣に問う。

“まだまだ苦しんでいる人もいる。元気を出しなさい”というしかなかつた。その人は間もなく、命を失った。

人生必ずしも平坦でない。逆境のときこそ人間の値打ちがわかるといふ。強い信念で生きなくてはならぬ。この三月、民芸『奇蹟の人』を見た。ケラー家の六歳の娘ヘレンは熱病のため眼も見えず、耳も聞こえず、文字通り盲聾啞になった。

裕福な家庭で甘えと放埒そのもので手がつかなかった。家庭教師サリパンの献身的な教導が始まった。サリパンは“いかに少ない可能性をも掘り起こさなくてはならぬ”との信念でまさに血みどろの闘いであった。突如としてヘレンに光がさし生きる喜びを知った。まさに奇蹟であった。感動的な物語である。この娘が後に三重苦の聖女ヘレン・ケラー女史で身障者運動に献身した人である。

人生いかに険しくとも努力で打開できる。毎朝、久松山頂に登っている人がいる。この人（吉方温泉三丁目岡垣書店主）今年の豪雪の厳しい吹雪に、自分の背より高い雪をスコップでかきわけ登ったという。意志の強さに敬服の外ない。

（市長）

高まる地方都市の役割

総合計画を修正

60年に向け目標設ける

この三月に将来構想研究会、将来構想懇談会など市民の手で作り上げられた昭和七十年代に向けての将来構想をふまえ、六十年を目標に市政推進の基本的な方針を明らかにした「鳥取市総合開発計画基本構想」がこのほど改定されましたので、そのあらましを紹介いたします。

このたびの計画改定については近年の経済社会情勢が急激な基調変化を見せ、従来のような経済の急速な拡大は期待できない状況になる一方、人口と産業の地方分散

が図られる方向にあり、今後、地方都市の果たす役割が一層高まること予測され、市民の共通の目標を明らかにし、その進むべき方向と新しい施策の体系化を図る必要がでてきたため行われたものです。

この基本構想でも、第一次総合開発計画（四十七年十二月策定、六十年目標）で指向した「しあわせを守る福祉都市」かおり高い教育文化都市「発展する緑の生産都市」の都市像を基調にしています。そして、市民としての誇りがもて、豊かで幸福感と生きがいをもち、

あらゆる機能と施設の均衡のとれた都市を目指して、住みたくなる街づくりのため①住民福祉の充実②生活環境の整備③教育文化の向上④産業の振興⑤都市基盤の整備の五つの項目を主要な課題にしています。

これまでの、第一次総合開発計画基本構想に基づき、四十七年度から五十年年度までの四カ年の具体的施策を定めた基本計画を市政の指針として、その推進に努めています。

今回の基本構想に盛り込まれている将来の展望は次の通りです。

〔人口の見通し〕
本市の総人口は、四十年から四十五年にかけては四割の増加だったものの、五十年には四十五年に比べ八割、九千六百六十一人増加し十二万二千三百十二人になります。今後の人口は、都市機能の充実などに伴い、若年層の県外流出も低下、かなりの社会増が期待でき、五十五年には十三万五千五百人、六十年には十四万九千九百人（第一次計画十四万五千三百人に比べて四千六百人増）を見込み、六十年階層別人口については、六十五歳以上の高齢人口の割合は五十年の九・〇割から六十年には一〇・五割に達する見通しで、高齢化社会への対応が課題となります。

〔世帯数の見通し〕
世帯規模は、核家族化による世帯分化が進み、四十五年に四人を割って三・七人となり、さらに五十年には三・四人と縮小、今後も核家族化が進むものと考えられ、六十年には三・三人程度となり、世帯数は五十年に比較して一・三倍の四万四千世帯に達するものと見込まれます。

〔地域構造変化の見通し〕
都市化の進行につれ、市街地人口は増加、その他の地域では減少という傾向は今後も持続することが予想され、六十年では市街化区域には総人口の約八割にあたる十二万五千六百人が定着する見通しです。一方、市街地内部の構造変化については、いわゆる「ドーナツ化現象」が今後も続くことが予想されます。

〔生産所得の見通し〕
産業発展のための広域交通体系の整備が進み、生産所得は四十五年の六百八十億円から六十年には二・九倍の一千九百八十七億円（第一次計画では四・五倍の三千六十六億円）になるものと予想されます。

産業別にみると、第一次産業（農林、水産、牧畜業など）で三十六億円から一・四倍の五十一億円、第二次産業（製造、建設業など）で百八十五億円から三・六倍の六百七十四億円、第三次産業（サービス産業）で四百五十九億円から二・七倍の一千二百六十二億円にそれぞれ達する見通しです。

人口は15万人見込む



仲良く歌をうたう園児たち — これからもきめ細かな福祉施策に力が注がれます（美保保育所で）

〔人口の見通し〕
本市の総人口は、四十年から四十五年にかけては四割の増加だったものの、五十年には四十五年に比べ八割、九千六百六十一人増加し十二万二千三百十二人になります。今後の人口は、都市機能の充実などに伴い、若年層の県外流出も低下、かなりの社会増が期待でき、五十五年には十三万五千五百人、六十年には十四万九千九百人（第一次計画十四万五千三百人に比べて四千六百人増）を見込み、六十年階層別人口については、六十五歳以上の高齢人口の割合は五十年の九・〇割から六十年には一〇・五割に達する見通しで、高齢化社会への対応が課題となります。

〔世帯数の見通し〕
世帯規模は、核家族化による世帯分化が進み、四十五年に四人を割って三・七人となり、さらに五十年には三・四人と縮小、今後も核家族化が進むものと考えられ、六十年には三・三人程度となり、世帯数は五十年に比較して一・三倍の四万四千世帯に達するものと見込まれます。

〔地域構造変化の見通し〕
都市化の進行につれ、市街地人口は増加、その他の地域では減少という傾向は今後も持続することが予想され、六十年では市街化区域には総人口の約八割にあたる十二万五千六百人が定着する見通しです。一方、市街地内部の構造変化については、いわゆる「ドーナツ化現象」が今後も続くことが予想されます。

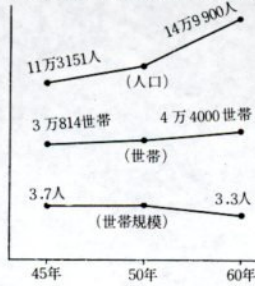
〔生産所得の見通し〕
産業発展のための広域交通体系の整備が進み、生産所得は四十五年の六百八十億円から六十年には二・九倍の一千九百八十七億円（第一次計画では四・五倍の三千六十六億円）になるものと予想されます。

産業別にみると、第一次産業（農林、水産、牧畜業など）で三十六億円から一・四倍の五十一億円、第二次産業（製造、建設業など）で百八十五億円から三・六倍の六百七十四億円、第三次産業（サービス産業）で四百五十九億円から二・七倍の一千二百六十二億円にそれぞれ達する見通しです。



鳥取市の未来について語り合う若者たち

〈人口・世帯・世帯規模の見通し〉



また、五つの主要施策については次の通りです。
【住民福祉の充実】
 これからも福祉需要は一層拡大するものと思われ、社会的に弱い立場にある老人、子供、心身障害者、低所得者などへの暖かい福祉施策は、基本的には年金、医療保

都市基盤の整備に力

険など国の体系的制度として実施されるべきものですが、新たに生ずる福祉需要を適確に掌握して、市民の要請に応えるきめの細かい施策を推進します。

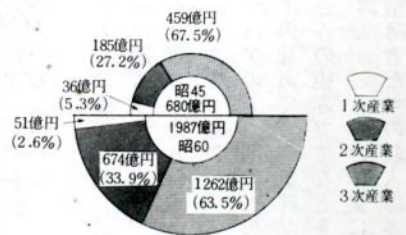
【生活環境の整備】

整備された生活環境のもとで、市民それぞれの各種社会活動がコミュニティ（近隣社会）の場を通じて円滑に行われる必要があります。そして、健全な市民生活の基盤として確保されている美しい自然を背景に、住宅、上下水道、公園、道路網など生活に密着した環境施設の整備を適切に段階的、計画的に進めていきます。

【教育文化の向上】

市民一人ひとりが生涯にわたつ

〈市民生産所得の見通し〉



定性性を促進するため、鳥取大学の人文科学系学部の設置と女子大学の設立を促進。また、市民総ぐるみの体力づくりを推進し、これに必要なスポーツ、レクリエーション施設の整備を進めます。

【産業の振興】

生活環境や自然環境との調和を基調として、その発展に努めます。農業については、複合型農業の展開を基本として、生産性と自給率の向上を図り、林業については、国土の保全と森林資源の有効利用を進め、漁業については、沿岸漁業の再評価と二百㌧時代に即応した振興を図ります。商業については、商店街の体質改善によって近代的商店街を形成し、その経営基盤を強化し、工業については、優良企業の誘致を積極的に進めるとともに、地場産業の体質強化を図

ります。
【都市基盤の整備】
 交通体系の整備については、山陰新幹線をはじめ、本市を基点とする中国横断自動車道などの高速交通体系が根幹となりますが、当面は、鉄道と道路については在来の高速交通網を有機的、効果的に利用するため、国鉄智頭線の電化による早期開業、国道バイパスなど幹線網、鳥取空港、鳥取港の整備などにとめます。

て学習を積み重ねることのできるよう、教育の場を体系的に整備します。就学前教育については幼稚園などの施設を整備し、義務教育については計画的な施設整備を図り、高校教育については施設整備を県に要望し、大学教育については地域の文化水準を高め、若者の

第1回鳥取市の未来を見つめる会

若者が企画、市長と語る

現状をふまえながら未来を考え悔いのない郷土づくりをしよう
 鳥取市の現状と将来について三時

と市長、助役、各部長、教育長が

と市長、助役、各部長、教育長が
 鳥取市の現状と将来について三時
 間余り話し合いました。

金田市長が地図を指しながら市の将来構想（二十年後の鳥取市）を説明したあと、産業、建設、福祉、教育文化の四つの分科会に分かれてそれぞれの問題点を話し合

い、その結果を全体会でまとめました。
 産業部会では雇用問題、企業誘致、購買力、農業などを勉強、特に農業を若者にとつて魅力あるものにするための対策を望む声が強



来年へ向け総見直し

振興研が発足 12月に改善案

四十年に始まった「鳥取しゃんしゃん祭り」には、十三回目のこ

の踊り子の参加がありました、
「マンネリだ。見るもの、踊るも

今、市民の手で総見直しが行われている「しゃんしゃん祭り」
(ことし8月16日)



のとの交流や楽しさが無い」など、
強く祭りの見直しを求める声が多
いのが実情です。

そこで、市民のみなさんに「祭
りのあり方」を考えてもらい、新

しい方向をまとめ、来年からの祭
りに生かして行こう、と「鳥取し
ゃんしゃん祭り振興研究会」を組
織し、総見直しを行うことになり
ました。

この研究会は、商工会議所、商
店街、青年会議所、観光、報道、
学校、市関係者、学識経験者、市

民代表、各種団体、参加連、青年
グループのみなさん六十三人で構
成、第一回研究会は、九月三十日、
福祉文化会館で開かれました。

会長に谷口武吉鳥取商店街連合
会会長を、副会長に濱崎貢三鳥取

青年会議所理事長、田中久大新日
本海新聞社社長室長の二氏を選出
し協議に入りました。
主な意見としては、これまでに

行われた「若者の祭りを考える対
話集会」五十年十一月「鳥取市の
祭りを考える市民と市長のつどい

市が半額みます

若草福祉作業所への通勤費

市は湖山町西一丁目の精神薄弱
者授産施設若草福祉作業所に通っ
ている精薄者の通勤費を半額助成
することになりました。対象者の
数はわずかですが、この制度のも
つ意味は大きく、関係者に大変喜
ばれています。

この作業所は、在宅精薄者が独
立自活に必要な技術を習得し社会
復帰を図ってもらうと、この四
も九千円程度。

月、市が若草学園の一角に設置し
た県下初の通所授産施設で、現在
十二人の精薄者が週五日、自宅か
ら通っています。職員(二人)と
ボランティアの人(四人)の指導
で座いすの背あて、電気部品、洗
たくばさみの組み立てなどを行っ
ています。これらの作業によつ
て得る精薄者たちの収入は多くて

ところ、精薄者の通勤費はた
とえば岩倉から通所している人の
場合、バスの回数券を利用しても
二十二日で一万二千二百円となり、
懸命に流した汗の代価が手もとに
残らないどころか通勤費さえもま
かなえない結果になります。この
ため、同所の職員や市精薄者育成
会(浜崎芳宏会長)が市と一緒に
身障者並みの半額割引を国鉄や市
内のバス会社に交渉しましたが、
難しい問題もあり実現できません。
しかし、現に訴えがあり保護者が
困っているのが、市が半額の助成
をすることになったものです。

これは、自由踊りを盛り上げる
意味で、午後一時から若桜街道を
歩行者天国にし、色々な催し物を
やってはどうか」などの意見が、
また時間については「九時終了は
少し早い。しり切れトンボの感じ
だ。十二時ごろまででもいいので
は…。若桜橋―智頭橋間の袋川
沿いには夜店を並べ、一斉踊り後、
楽しめるようなことはできないか」
との意見も出されました。
なお、この研究会の結論は十二
月中にもまとめられることになっ
ています。

精薄者の交通費を身障者並みに
割引いてほしいという声は全国の
精薄関係者が長い間、訴えて来た
ことで、九月に広島で開かれた精
薄者教育福祉振興中国大会でも、
実現を期する第一項目に掲げられ
ています。

これについて作業所の関係者は
「精薄者の交通費割引は現在、東
京都など一部の大都市で実施して
いるが地方の小都市では珍しい。
本来、国や県がしなければなら
ない手あてだが、市の英断は精薄
者や関係者に励みになる」と話し
ています。

体育館、作業棟を新設

「老人の里」整備始まる

来々4月 大樹荘隣りに完成

お年寄りのみなさんに、健康で明るく希望のある生活を送ってもらうべく、と湖山池湖畔の老人休養ホーム大樹荘に隣接して「老人の里」の建設が始められ、来々四月オープンを目指しています。

新設されるのは、老人用体育館と作業棟。体育館は軽運動と娯楽の場として利用されることになり、機能回復訓練器具も整備、また移動式ステージも備えつけ演芸会にも使えるように工夫されています。広さは四百平方メートル。

作業棟は大樹荘の浴場跡地に建設される。総事業費は約六千万円。

各施設と隣接する自然休養村センターつづらを荘へは渡り廊下で連結させ、つづらを荘の温泉浴場、食堂なども利用できるようになり、また大樹荘二階の八室は宿泊施設として、そのまま残ります。

このほか、自由に花や野菜を植えてもらおう、と花菜園（一千平方メートル）も整備することになっており、総合的な老人のいこいと学習の場となります。総事業費は約六千万円。



稲葉山校区

市民総スポーツ運動が提唱されてから半年たちますが、各校区でのスポーツ運動のルポを連載します。第一回は稲葉山校区。

わが町のスポーツ運動

毎朝 走ろう・歩こう会

でき、毎朝六時から約三十分間、百人近くの人が、八百メートルから二千五百メートルの校区めぐりコースを各自体力に合わせ、走ったり、

歩いたりしています。写真も真向体操、卓球、バレーボールの講習も毎週開かれ、八月には少年野球大会（十二チームが参加）や、校区民約三千五百人が参加の納涼大会も開催。

また、この十月十日には、地区体育協会が永年、社会体育の普及振興に尽力したとして、昨年の県教委表彰に続き、文部大臣表彰を受け、市民体育祭にも積極的に参加、過去十年で六回もの総合優勝を飾っています。



市民体育祭でボールゲームを楽しむ婦人たち

昨年について 稲葉山、面影両校区が優勝

～第20回市民体育祭～

二十回目を迎えた市民体育祭はこの春に提唱された市民総スポーツ運動の中心で開かれました。七月三十一日の水泳競技に始まり、十月十日（体育の日）の陸上競技まで、十五種目で熱戦が繰り広げられました。

最終日の陸上競技は布勢のサブグラウンドで行われ、秋晴れのもと、得点種目の百斤競争、砲丸投げ、走り幅跳びなどのほか、市民運動会「種目の「二人三手」ボールよ、こいこい」宝さがしなど、チビっ子からお年寄りまででも気軽に参加できるものもあり、楽しい市民体育祭として盛り上がりを見せていました。

体育祭成績は、昨年に続いて、Aグループは稲葉山が、Bグループは面影校区がそれぞれ総合優勝を勝ち取りました。

総合順位と種目別優勝チームは次の通りです。

【総合順位】（数字は順位）
Aグループ・十二校区 ①稲葉山 ②賀露 ③富桑 ④久松 ⑤修立 ⑥城北 ⑦日進 ⑧明德 ⑨湖山 ⑩醇風 ⑪美保 ⑫遷喬

【Bグループ】十四校区 ①面影 ②浜坂 ③世紀 ④美穂 ⑤津ノ井 ⑥倉田 ⑦湖南 ⑧大和 ⑨大正 ⑩米里 ⑪末恒 ⑫東郷 ⑬神戸 ⑭明治

【種目別優勝チーム】
▽水泳 (A) 賀露 (B) 面影▽男子バレーボール (A) 美保 (B) 世紀▽婦人バレーボール (A) 湖山 (B) 東郷▽軟式庭球 (A) 稲葉山 (B) 面影▽相撲 (A) 久松 (B) 倉田▽柔道 (A) 稲葉山 (B) 津ノ井▽剣道 (A) 湖山 (B) 面影▽弓道 (A) 久松 (B) 世紀▽軟式野球 (A) 日進 (B) 大正▽ソフトボール (A) 明德 (B) 末恒▽バスケットボール (A) 醇風 (B) 面影▽バドミントン (A) 久松 (B) 面影▽軟式卓球 (A) 稲葉山 (B) 末恒▽市内駅伝 (A) 城北 (B) 湖南▽陸上 (A) 稲葉山 (B) 美穂

市政ニュース

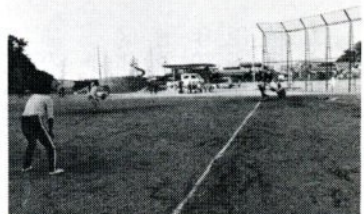
市民文化祭たけなわ 10月2日、鳥取明吟会と鳥取吟詠会による吟詠剣扇舞を皮切りに始まった52年度市民文化祭（市教委、市文化



団体協議会共催）は、いまたけなわです。この文化祭には、芸能、美術、文芸のサークル

約50団体が参加、永年にわたる研究精進の成果が発表、展示、公開されており、12月18日の鳥取音楽家クラブ演奏会でその幕を閉じます。11、12月の日程は本紙10、11月号の「お知らせ」欄に掲載しています。

野球もできる美萩野公園 大規模な住宅団地として整備が進められている末恒地区の美萩野団地に、少年野球、ソフトボールができる運動広場



を主体にした公園が完成、10月2日、開園式が行われました。広さは8100平方メートル、児童公園としては東富安公園に次ぐ二番目の大きさ。動物ベンチ、メリーゴーランド、回旋すべり台、ぶらんこ、鉄棒などの遊具も備え付けられています。総事業費は1100万円。

楽しく勤労青少年クラブ交流会 県内で2つの勤労青少年ホーム（鳥取と倉吉）を拠点として活動しているクラブ、サークル間の親



ばくくと交流をはかろうと、10月16日、勤労青少年ホームで、勤労青少年クラブレクリエーション交流会が開かれました。参加したのは卓球、バレーボール、絵画、華道などの7クラブ70人。ボール運び、糸通しリレーなどのミニミニ大運動会、クラブ別情報交換会、フォークダンスなどで楽しい1日を過しました。

フル運転、最新鋭の路面清掃車 中国地方では3台目という、最新鋭の路面清掃車がこの8月に配備され、フル運転しています。この清掃車は散水しながら、ブラシで路面をこすり、泥、びんのかげらなど吸い込み、直接ダンプに泥など移せる油圧型フロントリフトダンプブラシ式。後輪は1輪の3輪車のため、直角に曲がれるなど小回りが効くのが特長で、横道の除雪、排雪にも使う予定です。

不良住宅密集地を整備

小集落地区改良事業

昨年十月号の市報「同和問題シリーズ④」で同和対策事業の国の補助率などについてお知らせしましたが、今回は市施行の同和対策事業のうち「小集落地区改良事業」の内容についてお知らせします。

同和問題 シリーズ

▷ 7



同和地区では歴史的な部落差別が災いになり、土地所有も認められない厳しい社会的制約の中で家が密集しており、道路も狭く消防自動車も入れないところが多いため、以前から火災による被害が相当大きくなっています。

小集落地区改良事業は同和対策事業特別措置法に基づいて、生活環境などの安定向上が阻害されている同和地区において、不良住宅が密集している地区の環境整備を図るために行うものです。事業対象には基準があり、市内では馬場、円通寺、下味野の三地区です。

（住環境の整備は）

この事業では不良住宅を市が全部買収、取り壊し、除却跡地に道路をつくり、また緑地、子供の遊び場などを設け公共施設を整えま

す。公共用地にかららないものや、残地は隣家が交換分合して敷地の密集を防いでいます。なお、良住宅で道路にかかる場合などには当然補償を行い、地区

の整備を図っています。《移転先用地の確保は》一戸当りの宅地面積が少なく、ここに道路、緑地など公共用地を取得するため、当然移転用地が必

要となり事業計画に沿って宅地を造成します。これらの用地は、地元関係者から平均耕作反別が少ないにもかかわらず事業をご理解いただき、譲渡を受けたものです。

住宅新築などで生活環境を改善

《住宅の建築は》

この事業を行っている地区で、近年立派な家並みが見えるようになりました。市民の中には、国や市が建てたように錯覚している人があるようですが、そうではなく、市は移転をしなければならぬが、自力建設の不可能な人に対してのみ改良住宅を建てています。

《どうして立派な家が建つか》

これまで差別によって狭い家屋、敷地に住まわされ、不自由な生活を強いられていたため少しでも大きな家を夢みるのは人情です。しかし、不良住宅として買取された家屋の補償費と土地の売却代金ではとても家は建てられません。そこで、国は事業を促進するた

め、宅地取得、住宅新築に対して長期、低利息の貸付制度を設けており、その資金の借入れによって建設されているものです。従って、立派な家もすべて自己資産と借入金で建てているので、毎年相

当額の返済が必要なわけです。《逆差別》という言葉

近年、同和対策事業が進み同和地区の生活環境が以前よりよくなるにつれて「逆差別だ」との声を市民の間から耳にするようになり

ましたが、これは表面的な一部分を見てのみの言葉で、誠に残念なことです。真の部落解放はまだまだこれからです。「部落解放を全市民の手で」を合言葉に、完全解放の早期実現を期して、問題解決のためご理解をお願いします。

第2回 鳥取市文化賞決まる

都宮氏(書家)ら3氏と1団体

昨年、仁風閣修復完成を記念して制定した「鳥取市文化賞」を、ことしは三氏と一団体が受賞することに決まりました。授賞式は十一月三日の文化の日に仁風閣で行われます。

受賞者は次のみなさんです。

(順不同)

都宮 彬聖



氏(七三) 本名寿治。書家。永年、書道教師として正しい書道普及のため尽力。また家庭婦人の文化活動に書道を提唱、「柳泉会」を結成、その会長となり指導にあたり、十年間毎年発表展示会を実施。五月には個展も開催。県書道連盟会長。立川町三丁目。



森原紀美子 氏(三六) 鳥取女声合唱団指揮者。武蔵野音楽大学卒業後、四十一年まで日本合唱協会に所属。四十九年、鳥取女声合唱団を編成。また自宅での音楽教室で多くの子弟教育に貢献。ことし六月、ソプラノリサイタル開催。中町。

師として正しい書道普及のため尽力。また家庭婦人の文化活動に書道を提唱、「柳泉会」を結成、その会長となり指導にあたり、十年間毎年発表展示会を実施。五月には個展も開催。県書道連盟会長。立川町三丁目。



観世流鳥取河村青嵐会 会長は藤間忠顕氏。会員二十人。観世流謡曲普及のため研修会、発表会を実施するほか、事業所に謡曲会を作り積極的に指導。七月三十一日には、全国的にも珍しい鳥取新能を開催 写真 真 市民に強い感銘を与え、謡曲に対する理解を深めた。

世紀小が最優秀

第3回花壇コンクール



花壇の手入れをする世紀小の生徒たち

市と市緑花協会は、このほど三回目の花いっぱい花壇コンクール(十団体参加)を行い、花の総合美、手入れ、形や配置などの構造について審査しました。結果は次の通りです。

【最優秀賞】世紀小学校 【優秀賞】神戸小学校、城北保育所、元町町内会 【奨励賞】富桑小学校、大正小学校、賀露小学校、美保保育所、みたらから保育所、相生町一丁目(旧川下)町内会

とっとり 食い物考 ⑦



浅沼 喜実

十一月、根菜類の季節が始まる。春は葉菜、夏は果菜、冬は根菜と覚えていた。青首大根のことは前月書いた。十一月、穀の降り始めるころ、懐かしいのは「こにも」。大根、ニンジン、ゴ

あくがぬける砂丘長芋

ボウ、里芋など、季節の根菜類を刻んでぐつぐつと煮こんだ料理。お講のこにもといつて、それぞれの宗派のお祖師さんの祭り関係があるようだ。シイタケ、こんにゃく、油揚げなども加え、煎った银杏の実を楪の上にのせれば最上のご馳走である。前月書いた大根の白あえや根菜類のこにもは畑物の収穫を喜ぶ意ぜひと忘れず続けてもらいたい。砂丘長芋もこのころになるとあくがぬけて、すつとろろにして、ちようどこのこ

ろから旬になるマルゴの刺身に山かけもよく、細い拍子木に刻んで、酢の多い三杯酢でたべてもうまい。畑のものを ついでに言えば、レンコンが 出始める。酢のものにしても よいが、薄く輪切りにして二 枚の間に豚肉をはきみ、衣を つけて揚げたのもうまい。吉 田璋也先生が北支(中国の北 部)で覚えて来られた料理で ある。果物では花御所柿。鳥 取自慢の一つとして、ぜひ作 りつけてほしいものである。 海では中旬から松葉ガニ。 ズワイガニを福井県では越前 ガニと言ひ、鳥取では松葉ガニ

国民年金

**加入者は
全国で2600万人**

～ 今月は「普及推進月間」～

国民年金は、厚生年金保険や共済組合などに加入していない農業や商工業などに従事している自営業、サービス業、自由業の人を加入対象としています。また、サラリーマンの奥さんには任意加入の道も開かれています。

現在、加入者は全国で2600万人を超え、総人口の4分の1を占めています。加入期間は、20歳から60歳までで、被用者年金に加入している人は、退職したときから国民年金に加入しなければなりません。

国民年金には①老齢②通算老齢③障害④母

子⑤準母子⑥遺児⑦寡婦の7つの年金と死亡一時金があります。老齢年金を例にとると、年金額は25年間保険料を払った場合で月額3万5558円、10年年金では2万2425円となっています。なお、これらの年金には、物価の上昇に合わせて年金額を引き上げていく「スライド制」が採り入れられ、いわゆる「目減り」がしないようになっています。現在、年金を受給している人は387万人を超えています。

保険料は定額で月額2200円。生活保護を受けている人や、家計が苦しい人は保険料が免除される仕組みもあります。

国民年金制度はみなさんのための年金制度です。みんなの力で大きく育てましょう。

詳しいことは、保険年金課年金係（市役所1階）にお問い合わせください。

本

**郷土シリーズ第6巻
「鳥取の短歌と俳句」発行**

市教育福祉振興会は親子で楽しく読める郷土物語のシリーズを発行していますが、このほど第6巻「鳥取の短歌と俳句」を発行しました。鳥取における短歌と俳句の歴史があますところなく盛られ、また現在活躍している歌人、俳人の作品も多数収められています。B6判225ページで、1冊700円。

執筆は、短歌が山本嘉将氏（県歌人協会会長）、俳句が松本稜葉子氏（鳥取俳人懇話会世話人代表）です。

購入希望の人は、振興会事務局（福祉文化会館2階・☎24-6766）へ。

なお、今後の刊行予定は次の通りです。

- ▷鳥取市教育の源流▷鳥取市の民俗と年中行事▷鳥取の美術▷砂丘と文学▷鳥取砂丘の姿▷鳥取の文学▷鳥取の画家とその作品▷鳥取と災害▷鳥取市の神社と仏閣▷町名の移り変わり▷水と鳥取▷鳥取市始め▷鳥取市民運動史▷名誉市民列伝

「花ひらく鳥取文化」も

市文化団体協議会（浅沼喜実会長）が発足15周年を記念して、このほど発刊した「花ひらく鳥取文化」は文化財、文学、美術、音楽、茶道、華道、演劇、芸能、写真、趣味など50余りの文化サークルの活動状況を約100枚の写真添えて紹介したものです。市の文化活動の手引き書であるとともに、文献的にも貴重な本です。A5判240ページで、1冊1000円。

購入希望の人は文化団体協議会事務局（福祉文化会館2階・☎24-6766）へ。

..... 残部あとわずか

「教育百年史」「水道六十年史」

49年に市教委が発行した「鳥取市教育百年史」（A5判、920ページ、3500円）と、50年に水道局が発行した「水道六十年史」（A5判、328ページ、4000円）が、それぞれ少々残っています。購入については、「教育 —」は市教委学校教育課、「水道 —」は水道局（☎23-1601）へ、それぞれ申し込んでください。

仁風閣特別展

仁風閣特別展として「鳥取・明治の商売往来」展を開催中です。商家の道具、商家街並みの復元図など展示。料金は一般・大学150円、高校80円、小・中学校40円です。

とき 11月23日まで（期間中無休）
ところ 仁風閣（久松公園内）

秋の展示会

尚徳大学菊花展、市働く婦人の家グループ作品展、第4回公民館祭が、それぞれ次の日程で開かれます。多数おいでください。

《尚徳大学菊花展》11月13日～16日、福祉文化会館5階で。約150点を展示。

《市働く婦人の家グループ作品展》、11月26、27日、婦人の家講習室（福祉文化会館3階）で。和裁、洋裁、俳句、俳画、ちぎり絵、押絵などの作品を展示。

《第4回公民館祭》11月30日～12月5日、福祉文化会館3、4、5階で。公民館活動の1年間の総まとめということで、多数の作品を展示。

文化財映画会

市教委が次の日程で文化財映画会を開きます。気軽においでください。（無料）

とき=11月17日(木)午後6時～8時

ところ=福祉文化会館3階

題名=「床の間と床飾り」「スライド・長崎の文化財」など3本

**52年度
市民文化祭
日程③**

本紙10月号に引き続き、52年度の市民文化祭日程を紹介します。

【11月】

▷鳥取秋芳会菊花展=10日*、久松公園

▷鳥取青年合唱団演奏会=11日、市民会館ホール

▷鳥取演劇鑑賞会演劇鑑賞=12日、同ホール

▷鳥取凡才会盆栽展=12～14日、福祉文化会館4階

▷鳥取室内合奏団演奏会=18日、福祉文化会館5階

▷鳥取美術家集団洋画展=18～21日、市民会館展示場

▷鳥大ギターアンサンブル演奏会=19日、同

11月26日～12月2日
秋の火災予防運動



北方領土返還要求のつどい

10日、市民会館で

総理府北方対策本部、北海道共催（後援・外務省、県、県市長会など）で、9回目の「北方領土返還要求のつどい」が開かれます。

とき 11月10日(木)午後1時～4時
ところ 市民会館大ホール

行事 北方領土居住者の訴え、激励のこたば、アトラクション（歌と郷土芸能）など
なお、このつどいのほか「北方領土展」が10日から15日まで、鳥取大丸で開かれます。

・スポーツ・

② **気軽にできる体力テスト**



〈心肺機能は健全か〉

1分間その場かけ足をし、直後に大きく息をすって10秒間止める。

・歩こう会・

みんなで歩こう会の126回目の例会は次の通りです。昼食を持参してください。

とき=11月13日(日)

コース=集合・午前7時20分に鳥取駅→出発・7時33分(因美線)→智頭→芦津溪→智頭→鳥取(午後6時) [交通費=1500円]

ホール

▷鳥大演劇部演劇公演=20日、同ホール
▷集団フォトとっとり写真展=20～23日、福祉文化会館5階

▷鳥取書道連盟書道展=22～27日、同4階
▷都山流尺八鳥取幹部会演奏会=23日、市民会館ホール

▷鳥取演劇集団・鳥取市民劇場の合同公演=25日、同ホール

【12月】

▷鳥大フィルコール公演=3日、同ホール
▷鳥大軽音楽部演奏会=4日、同ホール

▷一音会演奏会=7日、福祉文化会館4階

▷鳥大フィルハーモニー演奏会=10日、市民会館ホール

▷鳥取音楽家クラブ演奏会=18日、同ホール

健康②

乳児検診

生後6カ月の乳児を対象に乳児検診を行います。



この期間は赤ちゃんの心身の発育、栄養の転換などに大切なときですので、対象児のある家庭は必ず受けさせてください。

お母さんが同伴できないときは妊娠中や出産後の発育状態などがわかるようにしてください。(無料)

受ける人=昭和52年5月生まれの乳児
 ところ=福祉文化会館(西町2丁目)
 とき=午後1時~3時
 母子手帳を持ってきてください。

検診日	校 区
11月15日(火)	神戸 美和 倉田 面影 東郷 大正 世紀 湖南 末恒 湖山 城北 賀露 浜坂 明治 米里 津ノ井
11月16日(水)	上記以外の校区

市民健康相談

次の日程で同和地区の乳幼児と成人を対象に健康相談を行います。担当は市保健婦。

受ける人=生後1~18カ月の乳幼児と成人
 とき=①乳幼児は午前10時~正午②成人は午後1時~3時 (無料)

相談日	相談場所
11月8日(火)	倉田隣保館 下味野隣保館
11月9日(水)	古海隣保館
11月10日(木)	西品治公民館

テレホン・サービス

暮らしに役立つテレホン・サービスを実施しています。気軽に利用してください。

ダイヤル ☎26-5000

生鮮食料品の卸売価格情報、料理一口ヒント=月曜日~金曜日の間、毎日午前11時~午後4時

暮らしの知恵ヒント=月曜日~金曜日の間、毎日午後4時~翌日午前11時
 《11月のテーマ》1日=血圧が気になる方へ▷2~4日=油のいろいろ▷7、8日=輸血と献血▷9~11日=鉛筆のJIS規格とは▷14、15日=やけどの手当て▷16~18日=家庭用品の寿命▷21~23日=羊毛▷24、25日=共働き家庭の食事づくり10カ条▷28~30日=ぬかみそ
 《12月のテーマ》1、2日=温度によってちがう味
 季節料理、健康献立ヒント=土曜日・午前11時~月曜日・午前11時

ダイヤル ☎26-5005

不用品交換あっせん=月曜日・午前10時~午後3時に受け付け

三歳児健康診査

次の日程で3歳の幼児を対象に総合的な健康診査を行います。

対象児のある家庭へは健康診査通知をしていますが、万一、通知が届かない場合でも、自由に来てください。(無料)

受ける人=昭和49年5月生まれの幼児
 ところ=福祉文化会館(西町2丁目)
 とき=午後1時~2時30分

母子手帳を持ってきてください。
 問い合わせは鳥取保健所(☎22-5161)へ。

健康診査日	校 区
11月22日(火)	日進 明德 賀露 久松 醇風 遷喬 修立
11月24日(木)	浜坂 城北 湖山 稲葉山
11月25日(金)	上記以外の校区

★昭和48年12月~49年4月生まれの幼児で未受診の人も、受診しても結構です。



粗大ゴミ

連絡してから持ち込みを

神谷清掃工場

☎53-2611

可燃物処理場の神谷清掃工場に持ち込まれる粗大ゴミは年々増えてきており、最近では、日によって処理能力以上の持ち込みがあり、処理が困難となっています。そこで、円滑な処理を行うため、粗大ゴミの受け入れの取り扱いを次の通りに変えますので、ご協力ください。

《持ち込み方法》持ち込むときは事前に工場(☎53-2611)へ連絡し指定日に持ち込んでください。連絡のない場合は受け入れしません。

《持ち込み時間》午前8時30分~午後3時30分(土曜日は午前11時まで)。なお、正午~午後1時の間は受け入れしません)

募集中!

いなば墓苑

永代使用

1区画は約6平方メートル、永代使用料は約15万円です。申し込みは環境課環境衛生係(市役所2階)へ。

八坂地内(因幡霊場隣り)の市営墓地(いなば墓苑)の永代使用者を募集しています。

暮らしの講座

11月のテーマは、「上手な買物の仕方」

で、講師は大阪消費者友の会会長の伊吹和子さんです。気軽に受講してください。受講料は不要です。

とき=11月9日(水)午後1時30分~3時30分

ところ=福祉文化会館3階(西町2丁目)

11月

- 国保料
- 下水道受益者負担金の第3期支払い月です

相談

11,12月の法律相談

一満員になり次第締め切ります

弁護士による法律相談を行っています。相続、遺産、土地の売買や登記、家族問題などで困っている人は利用してください。(無料)

【市政室担当】相談時間は午後1時~4時。相談場所は市民相談室(市役所1階)。申し込みは市政室広報聴班へ。なお、11月の相談日はすでに満員となっています。

相談日 12月15日(木)

【社会福祉協議会担当】相談時間は午前10時~午後3時。相談場所は市社協協内の心配ごと相談所(福祉文化会館1階)。申し込みは市社協協(☎24-3180)へ。

相談日 ☐ 11月21日(月)
 ☐ 12月19日(月)

年金の相談所

年金について色々な相談に応じています。

とき=11月10日(木)25日(金)
 午前10時~午後3時

ところ=市役所玄関ホール
 相談員=鳥取社会保険事務所係官

税を知る週間

11日~17日

退職金の保全是
 は
 中退金制度で

近年、退職金制度は多くの中小企業に普及をみえています。しかし、退職金制度があっても、退職金の支払いにあてるべき資金が確実に準備されていない事例が多く見られます。

中小企業退職金共済制度は、国の援助で大企業なみの魅力ある退職金確実に支給できるように、とつくりだされた制度です。

この制度は、事業主が中小企業退職金共済事業団と退職金共済契約を結び、毎月、従業員ごとに決めた掛金を納め、従業員が退職したときは、事業主にかわって事業団が、所定の退職金を直接その従業員に支払うようになっています。

詳しいことは商工観光課振興係へ。

「県民手帳」予約受け付け

便利で使いやすい日記式手帳「53年版・県民手帳」の予約受け付けを行っています。

県勢が一目でわかり、各種統計資料と日常生活に役立つ記事が掲載されています。

購入希望の人は11月30日(水)までに市役所3階企画室内の市統計協会へ。1冊250円。

健康①

インフルエンザ予防接種

インフルエンザ予防接種を次の日程で行います。対象区域の会場で接種を受けられなかった人は、他の会場で受けてください。

対象 3歳以上の市民(保育所、幼稚園、小、中学校の児童生徒にはそれぞれの施設で実施します)

時間 午後1時30分～3時

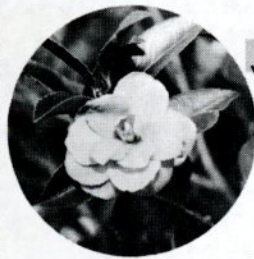
料金 3歳～中学生は無料。大人は1人1回300円(生活保護世帯、市民税が非課税または

均等割額世帯の人、65歳以上の人＝明治45年以前に生まれた人＝は無料になりますので証明できるものか市民税納入通知書を持参してください)

接種方法 1～4週間の間隔で2回皮下注射をします。

受けてはいけない人 熱があったり病気にかかっている人、心臓、肝臓、腎臓に異常のある人、妊産婦、病後の衰弱者、そのほか医師が接種を不適当と認めた人。特に鶏卵に対する特異体質の人は接種厳禁です。

地区	接種場所	接種日	
		第1回	第2回
美和	美和小学校	11月9日(水)	12月7日(水)
東郷	東郷地区公民館	11月10日(木)	12月8日(木)
米里	米里小学校	11月10日(木)	12月8日(木)
倉田	倉田地区公民館	11月10日(木)	12月8日(木)
賀露	賀露地区公民館	11月11日(金)	12月9日(金)
美保	美保地区公民館	11月11日(金)	12月9日(金)
大正	大正地区公民館	11月11日(金)	12月9日(金)
明治	明治地区公民館	11月14日(月)	12月12日(月)
湖南	湖南地区公民館	11月14日(月)	12月12日(月)
松保	松保地区公民館	11月14日(月)	12月12日(月)
神戸	神戸地区公民館	11月15日(火)	12月13日(火)
豊実	豊実地区公民館	11月15日(火)	12月13日(火)
明德	明德小学校	11月15日(火)	12月13日(火)
久松	福祉文化会館	11月16日(水)	12月14日(水)
富桑	富桑小学校	11月16日(水)	12月14日(水)
津ノ井	津ノ井地区公民館	11月17日(木)	12月15日(木)
修立	修立小学校	11月17日(木)	12月15日(木)
湖山	湖山地区公民館	11月18日(金)	12月16日(金)
末恒	末恒地区公民館	11月18日(金)	12月16日(金)
浜坂	浜坂地区公民館	11月21日(月)	12月19日(月)
稲葉山	立川町5丁目公民館	11月21日(月)	12月19日(月)
日進	日進小学校	11月22日(火)	12月20日(火)
面影	面影地区公民館	11月22日(火)	12月20日(火)
醇風	醇風小学校	11月24日(木)	12月22日(木)
城北	城北地区公民館	11月24日(木)	12月22日(木)
遷喬	福祉文化会館	11月25日(金)	12月23日(金)
補足	福祉文化会館	11月29日(火)	12月27日(火)



木のまつり

- ・3日(文化の日) 午前11時～午後4時 小雨決行(雨天中止)
- ・若桜街道 (歩行者広場)

市の木 サザンカ

- ・苗木プレゼント＝午後1時から元町・黒住教付近で、先着3000人に(まつり中止のときは市役所前でプレゼント)
- ・チビツ子広場
- ・スケッチ広場
- ・工作の広場
- ・植木展示即売会

生ポリオワクチン投与

(第2回)

次の日程で、生ポリオワクチンの投与を行います。対象児のある家庭は、この期間に必ず受けさせてください。(無料)

対象児＝昭和52年1月1日～6月30日の出生児と、まだ投与を2回終わっていない満4歳までの乳幼児

とき＝午後1時30分～3時

ところ＝福祉文化会館

受けてはいけない子＝熱があったり下痢、結核、重い心臓病にかかっている子、病後の衰弱児や栄養障害児、種痘やはしかの予防接種後1カ月以内の子、そのほか医師が投与を不適当と認めた子

その他＝申込書と予診票に必要事項を記入して、母子手帳と一緒に持参してください。



対象校区	投与日 第2回
醇風 城北 浜坂 大正	11月21日(月)
日進 賀露 湖山 神戸 末恒 美和 久松 修立 面影 米里 津ノ井	11月24日(木)
明德 富桑 稲葉山	11月25日(金)
遷喬 美保 倉田 世紀 湖南 明治	11月29日(火)
全市補足	11月30日(水)

★対象校区で投与を受けさせることができなかった人は、他の校区の投与日に受けさせてください。

ガン検診

次の日程で胃ガン検診を行います。希望者は厚生課保健衛生係に申し込んでください。

受付時間＝午前8時30分～10時30分



(無料)

区域	検診日	検診場所
大正	11月21日(月)	大正小学校
倉田	11月22日(火)	倉田小学校
日進	11月24日(木)	日進小学校

子宮ガンの受診申し込みはいつでも厚生課保健衛生係で受け付けており、市内の指定医療機関で受診していただきます。(無料)

～緑の週間行事～

3日～9日

11月3日の「木の日」を中心とした「緑の週間＝3日～9日」中に、市と市緑花協会は「木のまつり」当日の苗木プレゼントなどのほか、次のような楽しい催しを計画しています。気軽においでください。

- 《植木展示即売会・樹木づくり相談・木と花の交換広場》4日～6日、午前9時～午後5時、市役所駐車場で《盆栽展》5日～7日、午前9時～午後4時、明治生命ビル5階で《生けがき展示と講習会》6日、午前10時～午後3時、末恒生活センター駐車場(美萩野住宅団地内)で



市民会館(☎24-9411)▷3日＝第24回文部大臣旗全国高等学校弁論大会▷4日＝NKT秋の映画会「太陽がいっぱい」▷8日＝チューリップコンサート'77(有)▷10日＝北方領土返還要求のつどい▷14日＝鳥取東高吹奏楽部第5回定期演奏会(有)▷17日＝西日本奉詠舞大会▷18日＝瀬戸内寂聴文化講演会(有)▷21日＝BSS全山陰歌の選手権鳥取地区予選▷22日＝民音例会・ニニ・ロッソ演奏会(有)▷27日＝中・四国国立大学連合演奏会▷30日＝歳末たすけあい知名人職域芸大会(有)

福祉文化会館(☎24-6766)▷6～8日＝福井寿子押絵個展▷8～10日＝日本海文化学園作品展▷9、10日＝県勤労者美術展▷13～16日＝尚徳大学・菊花展▷17～19日＝県消費生活展▷30～31日＝第4回公民館祭作品展示

市民体育館(☎24-5222)▷6日＝全国学生バドミントン選手権大会▷8～10日＝県第7回家具産地見本市▷11～13日＝近県硬式卓球選手権▷20日＝軟式庭球高校団体県選手権大会▷26、27日＝鳥取室内硬式庭球選手権

県立博物館(☎26-8042)▷6日＝失われた生物展(有)▷12～16日＝県書道連盟展▷12～27日＝鳥取県の冬と民具展(有)▷21～27日＝中・四国国立大学美術展▷30～31日＝県高校美術書道展 《(有)は有料です》

※「市民文化祭」参加の催しは、この「催しもの」欄には掲載していませんので、10、11月号の「市民文化祭の日程」欄をご覧ください。



12月31日まで 共同募金